

まちが いいメガネで まちを見てみよう



第4回
「小ネタ発表会」

日時：12月11日
時間：13時30分
-16時30分
参加者：10名

本日の会場は熱田図書館！

熱田を舞台に、小ネタを探し、その魅力を発見・発信するこの講座。熱田図書館の共催でお送りしています。第4回目は、熱田図書館が会場です。

さて、どんな一日になるのでしょうか?!
いよいよ最終回が始まります。



小ネタ関連の本

会場の入り口に展示された本。事前に、受講生の皆さんが取上げている小ネタの内容を聞いた図書館の司書さんが、関連しそうな本を選んでくれました。

「東海珍名所」「日本の凄い神木」「路上の芸樹」等、こんなものがあるんだ!という本も。皆さんの小ネタとどう関連しているのでしょうか。



まちが いいメガネで まちを見てみよう



第4回目 タイムスケジュール



- 13:30 開会・オリエンテーション
- 13:35 わたしの「趣向」自己紹介
- 13:55 発表会
- 14:30 アンケート記入
- 14:32 休憩（シール貼り、ふせん貼り）
- 14:47 講評
- 15:02 熱田小ネタ新聞について
- 15:05 話題提供 色々な発信
- 15:30 グループワーク
- 15:50 シェア
- 16:05 講師コメント
- 16:10 修了式
- 16:20 記念撮影



アイスブレイク 「わたしの趣向自己紹介」

毎回最初に「わたしの趣向」をお話してもらうコーナー。本日は「まちを歩いていてつい目が行くもの」。講座が始まった10月以来、皆さん、小ネタを探してまちを歩いてきた経験から「自分はまちのこんなところに目が行くなあ」と気が付かれたことでしょう。

「古い和風家屋」「鳥のモチーフ」「独特な銅像」「マンホール」。「男子」という意外なお答えも！やっていることが面白いからという理由に、なるほど確かに…。今回も皆さんのバラエティに富んだ視点が披露されました。



「小ネタ」発表会！！ & 付せんでコメント



歩いて見つけたお気に入りの小ネタ。この日のために、大切に磨いてきた自分の「押し」を熱心に説明。

「ここは昔、魚市場だった」「地域の人あまり知らないスポットをまとめた」などの紹介から、「地味なネタだけど、深掘りしたら考察が深まった」「調べたけど、誰が書いたかわからなかった」・・・など、余韻を残す小ネタも。

付せんでコメント & マッピング

パタパタ

そのあと、発表を聞きながら書いたコメントを、それぞれの新聞の下に貼り付けます。カラフル付せんは、お互いへのエール。これまでのワークで一緒に練ってきた小ネタ新聞、人の小ネタにも思い入れがありますよね。



壁への愛が
伝わってくる

美っていう
視点がいい

この商店街に
行ってみたい
なった

モザイクアート
こんなに色々

隠れた話が
面白いです

独特なスポ
ットを巡るのが
いい

変な公園
イラストで
わかりやすい

つめあと
知らなかった

マッピング & ブレイクタイム



休憩中には、大きな熱田の地図に、自分の小ネタの場所にシールを貼って、小ネタマップの作成。このあたりかなあ…



並べてもらった小ネタ関連の本にも、皆さん興味津々。この本、自分の小ネタに関連がある！



講評

ここで講師から講評。まずは皆さん「完成度の高さに驚きです。」と張り出された小ネタ新聞をみて感嘆。幼稚園から高校まで、熱田で育ったというスタッフも、「こんなもの、あったのか?!」と、驚きながらコメント。また「橋やマンホールを、そんなふうな視点で見るなんて。面白い」。

中には、「小ネタは小ネタのままでいてほしい、あまり知られすぎてももったいないなあ…」うん、その気持もわかります、という講評もありました。まさにそれが「小ネタ」ですね。



小ネタをみつけたその先へ ～発信についての話題提供～

小ネタを見つけたら、人に伝えたくになりますね。ということで、まずは、地域情報のフリーペーパーを作られた受講生が、その事例を。続いて、講師からWebを使った情報発信について。SNSやブログ等、それぞれの強みや特徴をおしえてもらいました。

「冷やしたぬきうどん」について仲間同士のFBグループで情報交換していたら、ニュースに取上げられて、気がいたら「小ネタ」が「中ネタ」になんて事例も。面白いですね！



▲冷やしたぬきうどんが中ネタに



▲小ネタアプリというものもあるらしい

まちでのアクション

さて、恒例の「ナビゲーター井村さんの熱田コスプレ」も最終回。今日は何かなと、服装をみて予想していた方もみえると思いますが…なんと今日は「堀川」を全身で表現しているそう！そして、これまでのファッションを振り返り、「今まで、自ら小ネタに『なって』きていたんです。『BE小ネタ』なんです。」と、種明かし。



KNT

FIND KNT (小ネタを見つける)
 MAKE KNT (小ネタを作る)
 DO KNT (小ネタをする)
 BE KNT (小ネタになる)



そう、小ネタは「**見つける (FIND)**」だけのものではありません。自分の地域には何も無い。そう思ったとき、小ネタを「**作る (MAKE)**」ことも「**する (DO)**」ことも、そして自らが小ネタに「**なる (BE)**」こともできるんです。そうやって、地域を面白くしていけるんです。

そんな話をうけての、「これからやってみたいこと」ワーク。みんなお顔が輝いているようです。ワクワクした次の一歩をそれぞれ見つけてくれているようです。



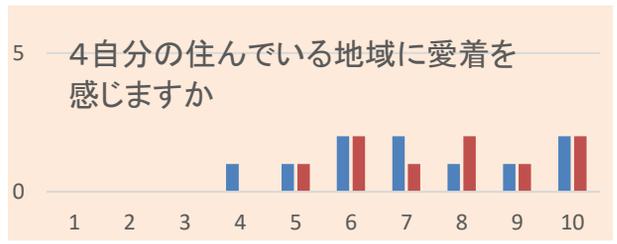
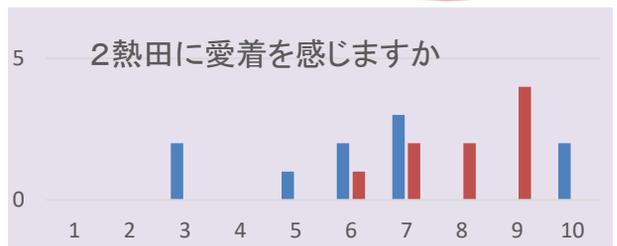
愛着度調査結果

さて、第一回に行った愛着度調査。最終回でどう変わったでしょう。

熱田について「知っている」「愛着を感じる」は、ともに、受講前より数値が上がりました。一方、自分の住んでいる地域については、「知っている」が下がるという結果に。これは「知ってるつもりだったけど、まだまだ知らないことがありそう！もっと知っていききたい」という気持ちの現われではないかと思われます。

小ネタ探して
 愛着度アップ！

MACHIGA-II-MEGANE



※いずれも、青が講座前、赤が講座後。横軸は、質問に対し1～10で、回答してもらったもの。縦軸は、回答数。

修了証書授与 & 締めKNT理論

最後は修了証書の授与。皆さん、4回にわたる講座と、毎回の宿題、がんばってやりきってくれました。本当に拍手です。
修了証書はもちろんメガネの形です。



KNT理論より 「小ネタが地域を持続させる。」



- ・「誰でも、どこでも、いつでも」つくろうと思えばつくれるのが、小ネタである。
- ・人が減っても、一人ひとりが日常を大切に、たまに誰かに語りたくなる何かがある地域では、小ネタが尽きることはない。
- ・小ネタに事欠かない場所には、独特のたくましさ、潔さ、愛おしさがある。そんな地域がこれからも生き残っていくのである。

そして、この講座を通じて、理論的に支えてくれた「KNT理論」から、明るい未来に向かわせてくれる言葉を引用し、講座の締めとしました。
あらためて、論文の引用を快諾くださった東京大学社会科学研究所の玄田先生と中村先生に、感謝の意を示したいと思います。

記念撮影



小ネタで地域が
面白くなる、
面白くなる！

MACHIGA-II-MEGANE

まちがII-MEGANEで見つけた あつた小ネタしんぶん



- 読んでみた！ 黒田の「まちがII-MEGANE」
- 1 読んでみた！ 黒田の「まちがII-MEGANE」
 - 2 読んでみた！ 黒田の「まちがII-MEGANE」
 - 3 読んでみた！ 黒田の「まちがII-MEGANE」
 - 4 読んでみた！ 黒田の「まちがII-MEGANE」
 - 5 読んでみた！ 黒田の「まちがII-MEGANE」
 - 6 読んでみた！ 黒田の「まちがII-MEGANE」
 - 7 読んでみた！ 黒田の「まちがII-MEGANE」
 - 8 読んでみた！ 黒田の「まちがII-MEGANE」
 - 9 読んでみた！ 黒田の「まちがII-MEGANE」
 - 10 読んでみた！ 黒田の「まちがII-MEGANE」

まちがII-MEGANEで見つけた
あつた小ネタしんぶん
好評いただいています！！

是非ホームページよりご覧ください。

2ヶ月にわたって一緒にやってきたメンバー。最後にみんなで、メガネが効いていますね！
これからも、ここで培ったKNTアイ=KNT愛を忘れずに。
地域に小さなタネを、まいていきましょう！！

講座修了後の アンケートより



講座を通じて感じた 「まちづくり」



- ◇地域のちょっとしたお店の看板や橋、マンホールでも、調べたら**歴史がある**こと。自分の住んでいるところでも**行動を起こしてみたい**
- ◇まちづくりを考える上で、小ネタを見つけて深掘りするという作業が、**愛着を高める**ことになるとわかった
- ◇まちづくりには「KNT」、**人のつながりや小さなことが大切**だと感じた
- ◇まちを活性化するには、**楽しさや人の感性・個性を活用**するとよい
- ◇まちづくりは、「人」によって**魅力アップ**につながる
- ◇小ネタは**まちづくりの一步**になり、気楽に進められる
- ◇まちづくりに必要な**広い視野と、小ネタの視点**両方が見についた



講座の運営について

- ◇有料でもおかしくないくらいの**レベルの高い内容**の講座
- ◇講義だけでなく**実践もする**のがいい
- ◇やろうと思えば負担少なくやれることが身について、**今後につなげられそう**
- ◇内容が濃く、**毎回充実**していた
- ◇講師・スタッフの**熱意**を感じた
- ◇**都市センターの存在感**が増した
- ◇**編集長の講義**は特に、とてもためになった
- ◇スタッフ側の準備が大変だったであろうことに**感謝**



「小ネタとは」?そして、その魅力とは



- ◇地域の**持続的なまちづくり**の源で、地域の人が誇れるもの
- ◇原石
- ◇ちいかわみたいなもの
- ◇些細な事だけど、大きな魅力を持っている
- ◇アイデンティティ
- ◇つい人に話したくなること
- ◇そのまちの**魅力**を示すもの
- ◇身近にあるまちの**魅力**
- ◇身近な事が**ネタ**になる
- ◇人との**つながり**に再発見できる見つけ物
- ◇良い意味で**情報にキリがなく**知らなかったことや、**地域の古くからの習慣や歴史**を知ることができる
- ◇着目しなければ気付かない小ネタでも、**集めて磨けば魅力的**なものになると思いました
- ◇**意外性、発見感**があって、ハッとする。何に惹かれて何を面白いと感じるかは、その人の個性が出る。その人の**視点**が見られる。また、街そのものの**魅力**でもある
- ◇最初はうち話だけの話（小ネタ）でも、広まるうちにナカネタ（地域）、オオネタ（全国）へと**発展**していくかも
- ◇**一見するとつまらない**ようなものが、ネタとして活用でき、そのまちの**魅力につながる**所
- ◇魅力を発見した時の**小さな喜び**

講座を終えて～講師・スタッフからのコメント～



受講生の皆さん、まちを見る面白いメガネをゲットしましたね。Find小ネタ→Make小ネタ→Do小ネタ→Be小ネタ。これからはDo&Beです。なりきり小ネタマイスターをめざしましょう！いつか皆さんと一緒に熱田まちあるきを実践したいです。春から企画をはじめ、提案×ダメ出しバトルを重ねた渾身の「まちが面白いメガネ探し講座」、まちを元気にする最強ツールになりました。スタッフ陣の皆さまもお疲れさまでした。

熱田小ネタコスプレイヤー 井村 美里

受講生の皆さん、修了おめでとうございます。身近なところで、KNT理論、FIND・DO・BEを実践して頂ければと思っております。

私も講座を通して、新しい理論と一緒に勉強することができました。出来上がった「小ネタ新聞」のすばらしさとアンケートのご意見にふれて、やってよかったと思えた講座でした。真剣に取り組んで頂いた皆さんに、また一緒に創りあげた講師陣、センターの皆さんに感謝しかありません。ありがとうございました！

三菱UFJリサーチ&コンサルティング 筒井 康史



講座を進める中で、受講生のみなさんの「まちが面白いメガネ」を通して探してきた「小ネタ」が素晴らしく、講師チームで話し合って後半の講座の内容のレベルを上げました。結果、受講生のみなさんのそれぞれのカラーが出て、読み応えのある小ネタ新聞ができたと思います。私たち講師チームにとっても、よりよい講座運営に向けていい勉強をさせていただきました。ありがとうございました！

都市研究所スペースア 浅野 健

「小ネタ新聞」の完成版を見て、はじめて自分の原稿が記事になったときの感動を思い出しました。小ネタの探し方、展開方法、レイアウトなど、すべてにおいて素晴らしい！毎回高度になっていく宿題にも真摯に向き合い、想像の上を行く吸収力を発揮してくれましたね。講座の雰囲気もアットホームでとても癒されました。いつかみんなで、第2弾を制作したいですね。思い出に残る講座に携わらせていただき、本当にありがとうございました。

名古屋リビング新聞社 中島 幸子



熱田区に住み始めて12年近くとなりますが、住民としても気づいていなかった小ネタを発見いただいたとともに、気になっていたところを深掘りいただいたことで、さらに多面的・重層的に熱田区の魅力を引き出させていただきました！各ページともキャッチフレーズや自体、配色とそれぞれに工夫が凝らされており、見た目にも楽しい誌面に仕上がったことと思います。

くおん経営 遠藤 久志

「小ネタ」ってなんだろう、まちづくりとどんな関係が…私自身、明確な答えを持ってないまま、講座の始まりを迎えました。でもその答えは、講座を通じて受講生の皆さんが見つけ出してくれたんです。そこには自ら答えをみつけて進んで行く「まちづくりびと」の姿がありました。

思い描いた講座を一緒に実現してくれた講師、スタッフ、そしてこの講座に「たましい」を吹き込んでくれた受講生の皆さまに感謝します。

都市センター 横畑 実知代

